

通常タイプ

事務局 記入欄		申請者 No.	取組年数	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
	本年度申請		達成状況					
	過年度申請		経過報告					

様式 B

イノベーション創出事業計画書（~~変更計画書~~~~実績報告書~~~~経過報告書~~）

申請者の概要

フリガナ		シズオカ タロウ		年齢(個人のみ)	該当する年代に○ 20代・30代・ 40代 ・50代 60代・70代・80代以上
氏名/団体名（船名）		静岡 太郎（〇〇丸）			
団体の 場合	責任者		電話番号 (F A X)	(AAA) AAA-AAAA	
	担当者		E-mail	AAA@AAA.AAA.AAA	
住所		〒〇〇〇-〇〇〇 〇〇市〇〇町〇-〇			
漁業種類 (漁業者の場合)		申請者の主たる漁業種類と漁獲する主な魚種 を記入 一本釣り（キンメダイ）	経営の種類 (法人の場合)	業種と主要製品・サービスを記入	
所属する団体		「〇〇漁業協同組合」「〇〇加工組合」等、所属 する団体がある場合は記入（ない場合は空欄） 〇〇漁協	パートナーシップ 構築宣言公表の有無	該当する方に○ 有 ・ 無 ※どちらかに○をつける	
支援チーム名		(県漁連、信漁連等)	申請タイプ	該当する方に○ 通常 ・ 異業種連携 ※どちらかに○をつける	
支援チーム担当者名		〇〇 〇〇			

申請日

事業計画申請日	変更計画申請日	実績報告日
令和 7 年〇〇月〇〇日	年 月 日	年 月 日
☒ 申請にあたり注意事項を確認しました		
添付書類等		
☒ 誓約書	添付忘れないかチェック	☐ 請求書の写し
☒ 見積書の写し		☐ 領収書の写し
☐ （法人の場合は現在事項 全部証明書又は履歴事項全部証明書）		☐ 購入した製品等の写真
☐ （団体の場合は組織及び運営に関す る規約等）		☐ （収益納付がある場合は収益納付に 係る報告書）
☐ （異業種連携タイプの場合は連携協 定書）		

※上記以外の書類についても提出を求める場合があります。

1 事業テーマ（30 字程度で簡潔に記載）

何を行う事業なのかわかるように記載

新たな漁業種との併用による漁業経営の安定化

2 連携先（異業種連携タイプのみ記載）

団体名（氏名）		業種	
事業内容			

3 現状と実現したい取組と狙い

どちらかチェック忘れずに

☒ 全く新しい取組である☐ 既存の取組の大幅な改良である

これまでとの違い（新しさのポイント）を明確に記載すること、また異業種連携タイプについては連携内容についても記載すること

(1) 現状・課題

- ・現在の経営の状況、経営を通じて何が課題となっているのか、今般申請する事業（取組）を計画するきっかけとなった問題点等を記載

- ・原則 100 字以上記載（異業種連携タイプについては原則 150 字以上）

○現状

現在、一本釣りです主にキンメダイを釣っているが、近年キンメの漁獲量は減少傾向であり漁業経営が不安定となっている。また、不漁に加え漁船用の燃料などの価格高騰により経費も嵩んでいるため、収入が減少している。キンメ漁だけで今後も事業を継続していくことは極めて不可能に近い。(R5 年間経費：船舶維持費 100 万円、燃料費 150 万円、資材費 150 万円)。

○課題

キンメダイの漁獲だけに頼らずに、経営を安定させることが課題となっている。

(2) 取組内容

- ・「(1) 現状・課題」に対して、本補助金を利用して何をするのか記載

○○○などの大型魚にも対応できる巻き上げ力の強い大型のリールを新たに導入する。

(3) 狙い

※異業種連携タイプについては連携効果についても記載

- ・取組内容の詳細を記載

- ・新たな取組により今後どうしていきたいのか、課題に対する解決方法をこれまでとの違いを明確にして記載

- ・原則 100 字以上記載（異業種連携タイプについては原則 150 字以上）

現在もっているキンメダイ用のリールは小型であり、大型魚種を漁獲することができないが、新たにリールを導入し、○○○などの大型魚も漁獲対象とすることで、新たな収入を確保することができる。

大型魚水揚げ金額：0→100 万円

- ・これまでと違いを明確に記載

- ・この事業を行うことでどのような効果を狙うのか記載

(経営の状況の分析を適切に踏まえたものになっているか)

4 取組 5 年後の目標値

直近 1 年間の数値

①収入 水揚げ金額など	—	②支出 燃料費など	=	③所得 (①-②)	⇒	④達成目標 ③×1.1 以上(通常タイプ) ③×1.2 以上(異業種連携タイプ)
1,000 万円		400 万円		600 万円		670 万円以上

※直近 1 年間の①収入と②支出について記載(該当分野の所得のみでも可)

※「7 目標の達成に向けた計画」に取組の詳細記載

④達成目標が

通常タイプ→③所得の 10%以上の数値となっているか

異業種連携タイプ→③所得の 20%以上の数値となっているか

5 経費配分 （単位：円）

見積書ごとに品目と金額を記載

手引きまたは要領から費目を確認し、該当する費目を記入

見積詳細	購入品等 (商品名、数量等)	費目	補助対象経費 (消費税抜き)	実績 (補助対象経費)
見積書 1	電動リール 1個	資材費	800,000	
見積書 2				
見積書 3				
補助対象経費合計		①	800,000	
補助金申請額の計算 (①×2/3) 円未満切り捨て		②	533,333	
補助金申請額	②以下かつ上限額以下 ※上限額：通常タイプは個人・企業 50 万円、団体 100 万円、異業種連携タイプは団体に限らず 100 万円		500,000	

※見積書が 1 つの場合は 1 段目のみの記載、複数ある場合には以降に記載

・事業計画を変更する場合

(変更理由とその内容)

※変更の場合は、申請時の金額の下部に括弧書きで数値を記載し以下の欄に変更理由、変更内容を記載すること

6 実績報告

実際に取り組んだ内容、取組効果について記載

取組内容	
取組効果 異業種連携 タイプについ ては連携効果 について記載	

7 目標の達成に向けた計画

事業テーマ	(「1 事業テーマ」を記入) 新たな漁業種との併用による漁業経営の安定化
申請者氏名	静岡 太郎

年次計画		達成目標		経過報告書		
				実績		事業の有効性評価とその要因 ※本事業への意見等についても記載可
1年目(R7年事業年度)	金額	①収入	1,000 万円	①収入	万円	報告日： 年 月 日
		②支出	400 万円	②支出	万円	☐ 事業効果あり ☐ おおむね効果あり
		①-②所得	600 万円	①-②所得	万円	☐ ほとんど効果なし ☐ 効果なし
	取組内容	・竿、リール発注、納入 ・新魚種を対象とした漁の準備		取		<要因>
5年間の目標が所得の10%向上に繋がる適切かつ具体的な内容であるか						
2年目(R8年事業年度)	金額	①収入	1,040 万円	①収入	万円	報告日： 年 月 日
		②支出	400 万円	②支出	万円	☐ 事業効果あり ☐ おおむね効果あり
		①-②所得	640 万円	①-②所得	万円	☐ ほとんど効果なし ☐ 効果なし
	取組内容	・操業の習熟 ・目標年間漁獲金額(キンメ 990 万、新魚種 50 万)		取組内容		<要因>
3年目(R9年事業年度)	金額	①収入	1,090 万円	①収入	万円	報告日： 年 月 日
		②支出	420 万円	②支出	万円	☐ 事業効果あり ☐ おおむね効果あり
		①-②所得	670 万円	①-②所得	万円	☐ ほとんど効果なし ☐ 効果なし
	取組内容	・新たな漁場拡大 ・目標年間漁獲金額(キンメ 990 万、新魚種 100 万)		取組内容		<要因>
4年目(R10年事業年度)	金額	①収入	1,090 万円	①収入	万円	報告日： 年 月 日
		②支出	420 万円	②支出	万円	☐ 事業効果あり ☐ おおむね効果あり
		①-②所得	670 万円	①-②所得	万円	☐ ほとんど効果なし ☐ 効果なし
	取組内容	・3年目の取組継続		取組内容		<要因>
5年目(R11年事業年度)	金額	①収入	1,090 万円	①収入	万円	報告日： 年 月 日
		②支出	420 万円	②支出	万円	☐ 事業効果あり ☐ おおむね効果あり
		①-②所得 「4 取組5年後の目標値」④達成目標を記載	670 万円	①-②所得	万円	☐ ほとんど効果なし ☐ 効果なし
	取組内容	・3年目の取組継続		取組内容		<要因>

4 5年後の取組目標の④達成目標の数値となっているか

事業年度記載